

お鋤山 植物たより (H27.9.13)

台風 18 号での強風でお鋤山も枯れ枝の散乱や倒木で遊歩道の何か所かは歩きにくくなっています。雨かと思ったらどنگりの落下の音でした。ツクツクボウシも鳴いています。もう秋です。

市道沿いの法面はクズで覆われてしまいました。6月ごろはキンシバイ (H26.6.15 掲載) の黄色の花で一色だったところですが、紅紫色に見えるのが花です。いたるところで繁茂しているクズですが、壁のようになっているクズは珍しいとおもいます。同じ市道沿いの北のほうに赤



クズ

い花をつけたような樹高 3 m ほどの木があります。ゴンズイ (H25.8.15 掲載) です。赤く見えるのは花ではなく、がく (花でいちばん外側にある花をまもるもの) です。果実が裂け、2 個ついた光沢のある黒い種子を見る事が出来ます。何かしら愛嬌があります。



ゴンズイ

お鋤山の南側、堰堤上流部は湿地になっています。雑草に覆われている中で、ミズヒキやキンミズヒキ (H26.9.17 掲載) が入り混じって咲いているのが目立ちます。ひっそりと咲いているのが草丈 30 cm のキツネノマゴです。枝の先に穂状に淡紅紫色の小さな花をつけています。農



キツネノマゴ



イヌコウジュ

道沿いでは日常的に見る野草ですが、お鋤山では珍しいと思います。市道沿いの駐車場では、クズに覆われて、かき分けないとわからない中に草丈 20 cm のイヌコウジュの花が咲いています。茎や枝の先に並ぶようについています。キツネノマゴと同じような小さな花をつけますが、穂状ではありません。ヤマガキやクリが実りはじめました。